

組織標本の多重染色セミナー

蛍光多重染色試薬を用いた新アプローチ

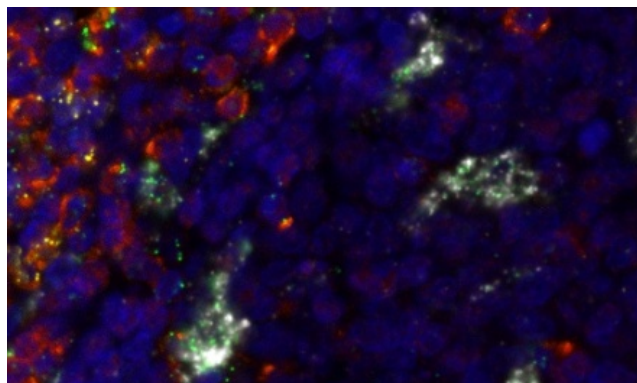
セミナー 日時：平成30年 6月20日(水) 13:30～14:30
場所：分子医学部門棟 2階 セミナー室
演者：野村 守(パーキンエルマージャパン)

装置デモ 期間：平成30年 6月20日(水)～22日(金)
場所：分子医学部門棟 3階 Ca²⁺測定室

セミナー

組織切片を用いた免疫染色(IHC)・in situハイブリダイゼーション(ISH)の同時多重染色技術(Opal蛍光多重染色試薬)を紹介します。

- ・同一動物種由来の一次抗体を複数組み合わせた免疫染色(Opal)
- ・最大6種の抗体での多重染色
- ・微弱シグナルの高感度染色
- ・パラフィン標本を用いたRNAの高感度検出



IHCとISHの同時染色事例

In situ ハイブリ

CD4-C1 (緑)

CD8-C2 (黄)

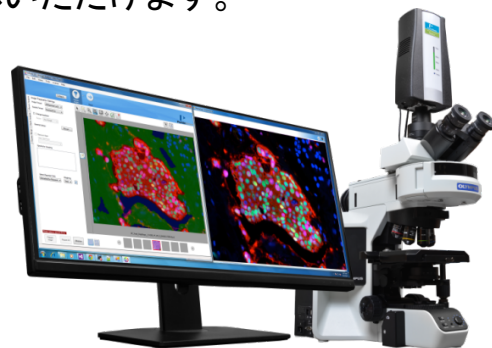
CD68-C3 (白)

免疫染色CD45RO (赤)

装置設置デモ

組織染色のセミナーに合わせて、組織解析システムのメーカー持込みデモを実施します。手持ちの免染標本の定量解析などをお試しいただけます。装置の見学のみも可能です。

解析事例 免染陽性細胞数のカウント
陽性面積の割合の算出
特殊染色標本の解析



共催：パーキンエルマージャパン